

一宮城跡について

昭和 29 年 8 月 6 日 県史跡指定
所在 徳島県徳島市一宮町西丁ほか

一宮城跡は徳島市の南西部、鮎喰川右岸にある東竜王山系の尾根先端に位置する中世山城です。

南北朝時代の延元 3 年 (1338) に小笠原長宗によって築城されたと伝えられ、その後天正 7 年 (1579) に土佐の長宗我部元親が侵攻するまで、小笠原氏の末裔である一宮氏が代々居城としていました。

一宮城跡は眼下に鮎喰川を望み、また背後は急峻な山地に囲まれた天然の要害です。標高 144m の本丸を中心に、明神丸、才蔵丸、小倉丸、権丸、水ノ手丸などの曲輪やそれらを防御する堅堀、土塁などが東西 800m、南北 500m の範囲の尾根筋上に配置されており、徳島県最大の規模と堅牢さを誇ります。なお、本丸から北東へ 500m の平地部にある寄神社周辺には、御殿居とよばれる居館跡推定地が広がっています。

天正 13 年 (1585) には蜂須賀家政が入城し、阿波支配の拠点として大改修を開始したものの、翌年徳島城に本拠を移すこととなります。その後一宮城は阿波九城と呼ばれた支城のひとつとなりますが、元和元年 (1615) の一国一城令を受けて廃城となります。

現在、草刈りなどの環境整備は一宮城跡保勝会の協力のもと、地域の皆さんによって行われています。

一宮城跡へのアクセス



公共交通機関で

○ JR 徳島駅から徳島バスターの原西線・一宮線で約 40 分

「一の宮札所前」停留所からすぐ



お車で

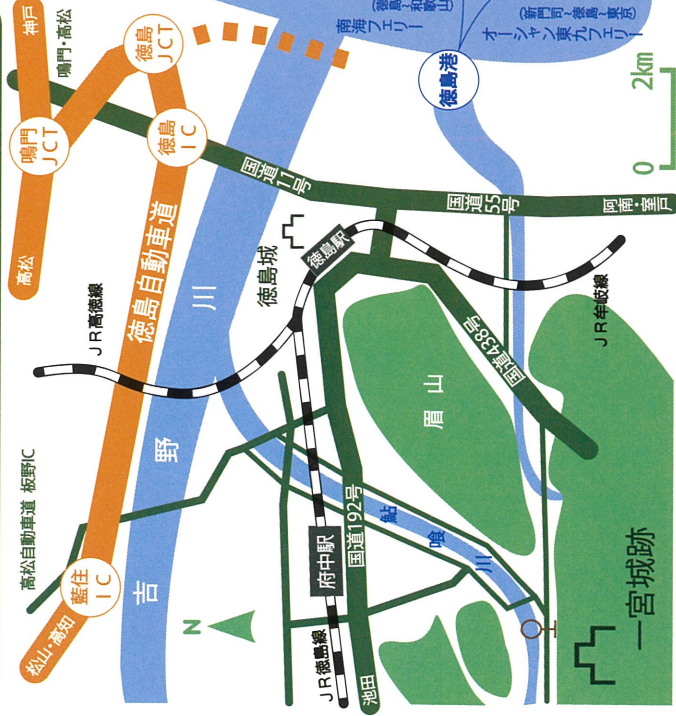
○ 神戸淡路鳴門自動車道「鳴門 IC」から約 40 分 (25 km)

○ 徳島自動車道「徳島 IC」から約 30 分 (16 km)

○ 徳島自動車道「藍住 IC」から約 25 分 (12 km)

○ 高松自動車道「板野 IC」から約 30 分 (17 km)

案内図



発行：徳島市教育委員会

連絡先：徳島市教育委員会社会教育課 TEL (088)621-5419

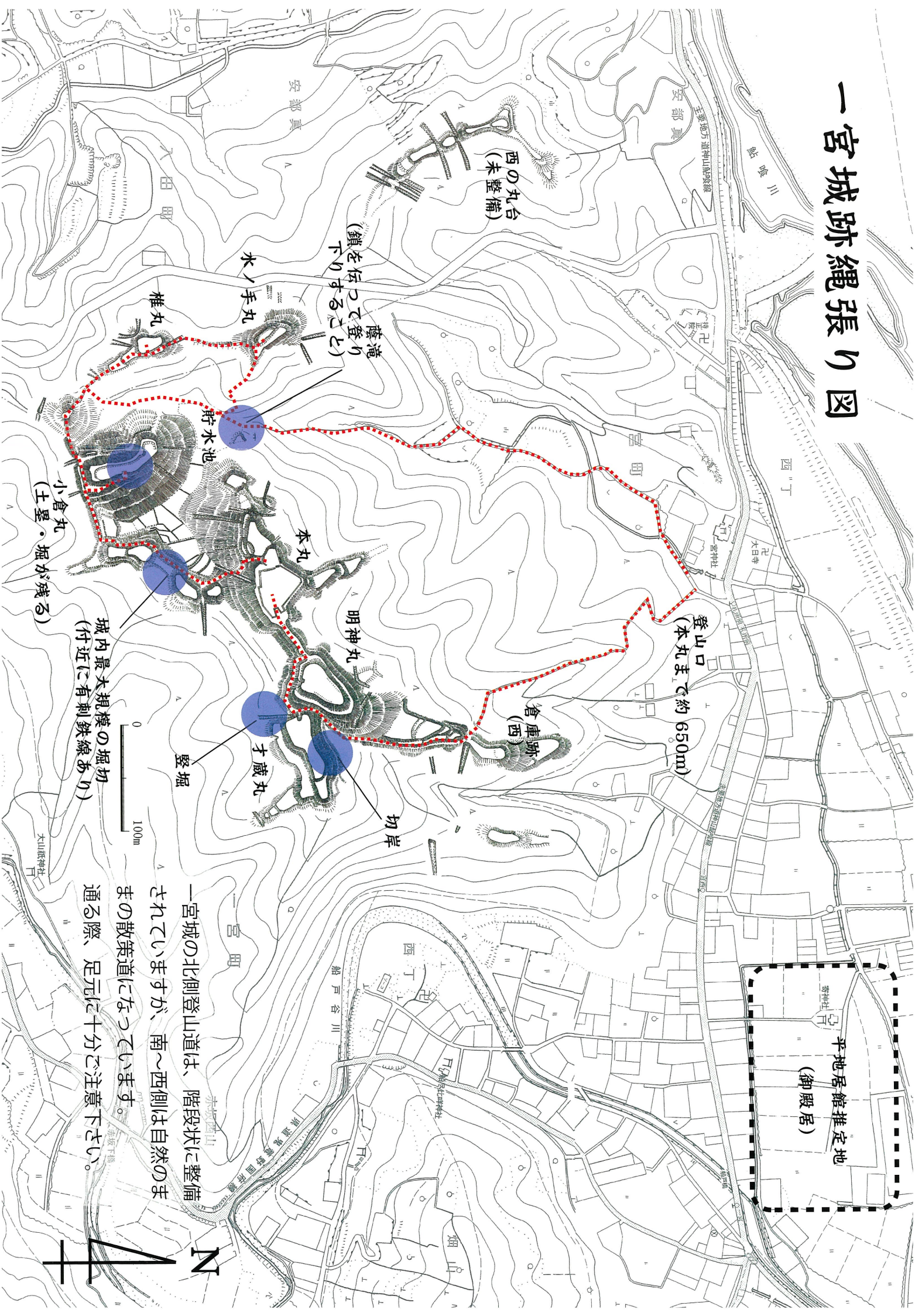
県史跡

一宮城跡

散策マップ



一宮城跡縄張り図



平地居館推定地
(御殿居)

登山口
(本丸まで約 650m)

西の丸台
(未整備)

蔭滝
(鎖を伝って登り
下りすること)

水ノ手丸

貯水池

椎丸

小倉丸
(土塁・堀が残る)

本丸

明神丸

才蔵丸

整堀

切岸

城内最大規模の堀切
(付近に有刺鉄線あり)

0 100m

一宮城の北側登山道は、階段状に整備
されていますが、南～西側は自然のま
まの散策道になっています。
通る際、足元に十分ご注意ください。

